

2007年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」(3年次生対象)集計結果

- 調査対象者 学部 2005 年度生全員。
- 調査方法 2007 年度秋学期成績交付時に調査票を配布, その場で学生に回答してもらい, 回収した。
- 回収状況 有効回収票数は 3277 票であり, 3 月 31 日時点の在籍者数に対する回収率は 57.7%であった。

表 学部別回収状況

	有効票数	在籍者数	回収率(%)
神学部	30	62	48.4
文学部	212	801	26.5
社会学部	439	509	86.2
法学部	142	936	15.2
経済学部	534	906	58.9
商学部	749	913	82.0
政策学部	263	375	70.1
文化情報学部	232	267	86.9
工学部	629	908	69.3
不明	47	-	-
合計	3277	5677	57.7

2007年度 キャンパスライフに関するアンケート調査（3年次生用）

アンケートご協力をお願い

このアンケート調査は、3年次生のみなさんが、今まで本学で学生生活を過ごして来られて、本学の教育に対して感じておられることを知ることによって、より良い教育プログラムを開発することを目的として、同志社大学教育開発センター（TEL：075-251-3277）が実施するものです。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありませんし、調査結果を本学の教育改善の目的以外に使用することはありません。ただし、回答したくないと思われる質問には、無理に答えていただくなくて結構です。

質問は全部で19問ありますが、10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

みなさんの意見から得られたことを教育改善の取組を通じてみなさんに還元するための重要な資料となる本アンケートに、是非ともご協力くださいますよう、お願いいたします。

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|---------------------|
| 1. 神学部神学科 | 10. 社会学部メディア学科 | 19. 工学部知識工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 11. 社会学部産業関係学科 | 20. 工学部情報システムデザイン学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 12. 社会学部教育文化学科 | 21. 工学部電気工学科 |
| 4. 文学部心理学科 | 13. 法学部法律学科 | 22. 工学部電子工学科 |
| 5. 文学部美学芸術学科 | 14. 法学部政治学科 | 23. 工学部機械システム工学科 |
| 6. 文学部文化史学科 | 15. 経済学部経済学科 | 24. 工学部エネルギー機械工学科 |
| 7. 文学部国文学科 | 16. 商学部商学科 | 25. 工学部機能分子工学科 |
| 8. 社会学部社会学科 | 17. 政策学部政策学科 | 26. 工学部物質化学工学科 |
| 9. 社会学部社会福祉学科 | 18. 文化情報学部文化情報学科 | 27. 工学部環境システム学科 |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 自宅通学 | 2. 自宅外通学 |
|---------|----------|

4. あなたの2007年度のGPAはいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 3.00ポイント以上 | 2. 2.50～2.99ポイント | 3. 2.00～2.49ポイント |
| 4. 1.50～1.99ポイント | 5. 1.00～1.49ポイント | 6. 1.00ポイント未満 |

5. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 一般入試
2. 指定校推薦入試
3. 推薦選抜入試（公募制）
4. A〇入試
5. 大学入試センター試験を利用する入試
6. 法人内諸学校等推薦入試（同志社高校）
7. 法人内諸学校等推薦入試（同志社香里高校）
8. 法人内諸学校等推薦入試（同志社女子高校）
9. 法人内諸学校等推薦入試（同志社国際高校）
10. 法人内諸学校等推薦入試（新島学園高校）
11. スポーツ推薦選抜入試（商学部のみ）
12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年次編入学試験
13. 社会人特別選抜入試
14. 外国人留学生入試

6. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 第一志望
2. 第一志望以外

7. あなた自身について、以下の点はどの程度あてはまりますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

1	2	3	4
あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる

1) できないと思われることに挑戦することが楽しい	1	2	3	4
2) 周囲に誇れる挑戦とその実績がある	1	2	3	4
3) 大変だと思うことも「何とかなる」と考えている	1	2	3	4
4) 何事も自分で決断する	1	2	3	4
5) 新しいものが好きで、今までのやり方にはこだわらない	1	2	3	4
6) グループの雰囲気が悪くならないように常に気にかけている	1	2	3	4
7) 周囲の考えていることを敏感につかみ、話をする	1	2	3	4
8) 一つの方法にこだわらず、他の方法で周りに働きかけることができる	1	2	3	4
9) 状況にあわせて当初の計画を変更する	1	2	3	4
10) 誰からの指示がなくても、自発的に動く	1	2	3	4
11) 予想していなかった状況に遭遇しても動じない	1	2	3	4
12) 目指すべき目標を示し、仲間をまとめてそこに向かう	1	2	3	4
13) 誰とでも話すことができる	1	2	3	4
14) 自分のミスを認めて、迷惑をかけた人に素直に謝る	1	2	3	4
15) お互いの立場の違いを考えて、意見をまとめようとする	1	2	3	4
16) 目標に向かってグループ全体が一つになるような環境作りに力を注ぐ	1	2	3	4
17) 大きな目的を決めてそれに向かって、日々やるべきことを決めている	1	2	3	4
18) 結論・理由・考え方を明らかにして、筋道を通して説得できる	1	2	3	4

8. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身につけていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	1	2	3	4	1	2	3	4
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 分析や問題解決能力	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 外国語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) 地域社会が直面する問題の理解	1	2	3	4	1	2	3	4
12) 国民が直面する問題の理解	1	2	3	4	1	2	3	4
13) グローバル化による問題の理解	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 文章を表現する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
15) プレゼンテーションの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
16) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
17) コンピュータの操作能力	1	2	3	4	1	2	3	4
18) 物事に対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4

9. あなたは、大学に入学してから、次の項目にどの程度適応したと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	うまく適応できなかった	やや適応した	かなりスムーズに適応した
1) 大学の学生向けサービスを上手に利用する	1	2	3
2) 大学教員の学問的な期待を理解する	1	2	3
3) 効果的に学習する技能を習得する	1	2	3
4) 大学が学問的に要求することに適応する	1	2	3
5) 時間を効果的に使う	1	2	3
6) 教員（所属学部・学科・専攻およびそれ以外も含む）との交流を深める	1	2	3
7) 他の学生と交流する	1	2	3

10. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動（勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等）を行いましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 5時間以下 2. 6～10時間 3. 11～15時間
4. 16～20時間 5. 21時間以上

11. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0時間 2. 1～10時間 3. 11～20時間
4. 21～30時間 5. 31～40時間 6. 41時間以上

12. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書（漫画、趣味・娯楽雑誌を除く）をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

13. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	1 し な か っ た	2 あ ま り し な か っ た	3 た ま に し た	4 日 常 的 に し た
1) 雑誌論文などを読んだ	1	2	3	4
2) 図書館を利用した	1	2	3	4
3) 辞書を利用した	1	2	3	4
4) 教科書以外の文献を読んだ	1	2	3	4
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読んだ	1	2	3	4
6) インターネットで情報を収集した	1	2	3	4
7) 授業中に教員が黒板に書かなかったことでもノートを取った	1	2	3	4
8) ノートは、見出しの工夫をして整理した	1	2	3	4
9) 授業で配布された資料（プリント）を整理した	1	2	3	4
10) 授業内容について教員に質問した	1	2	3	4
11) パソコンを使って文書や資料を作成した	1	2	3	4
12) 授業で出された課題はきちんと提出した	1	2	3	4
13) 授業中以外に、他の学生と授業内容について議論した	1	2	3	4
14) 他の学生と一緒に勉強した	1	2	3	4
15) 授業の予習をした	1	2	3	4
16) 授業の復習をした	1	2	3	4
17) 授業に遅刻した	1	2	3	4
18) 授業を欠席した	1	2	3	4

19) 授業をつまらなく感じた	1	2	3	4
20) 単位を習得できなかった授業があった	1	2	3	4
21) 授業中以外に教員とコミュニケーションをとった	1	2	3	4
22) 試験前に授業のノートを読み返した	1	2	3	4
23) 試験前に指定された教科書や参考書を読んだ	1	2	3	4
24) 試験前に補足的な調べものをした	1	2	3	4
25) 試験前に授業内容をまとめた	1	2	3	4
26) 自主的な学習プロジェクトに参加した	1	2	3	4
27) 学際的な授業を履修した	1	2	3	4
28) プロジェクト科目を履修した	1	2	3	4
29) 外国語オナーズを受けた	1	2	3	4
30) 教職免許科目を履修した	1	2	3	4
31) 語学研修プログラムに参加した	1	2	3	4
32) 正規交換留学生として留学した	1	2	3	4
33) 私費留学生として留学した	1	2	3	4
34) パソコンの e-mail を使ったコミュニケーションを行った	1	2	3	4
35) 携帯電話の e-mail を使ったコミュニケーションを行った	1	2	3	4
36) 新島襄やキリスト教等建学の精神にふれる大学の行事に参加した	1	2	3	4
37) 学生支援センターのイベントに参加した	1	2	3	4
38) アルバイトをした	1	2	3	4
39) ボランティア活動をした	1	2	3	4
40) クラブ・サークル活動を行った	1	2	3	4
41) 学生同士の研究会に参加した	1	2	3	4
42) 授業が無い日も大学に来た	1	2	3	4
43) 授業クラスのコンパに参加した	1	2	3	4
44) 授業を他の活動より優先した	1	2	3	4

14. あなたが働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 高校に入学する以前
2. 高校在学中
3. 大学進学を決める時
4. 大学入学時～就職活動前
5. 就職活動の時
6. まだ考えていない
7. その他()

15. あなたは、実際に3年次生秋ごろから始まる就職活動とは別に、希望する進路のためにどのようなことを行いましたか。以下の項目にあてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	いいえ	はい
1) 専門学校に通った	1	2
2) 大学で希望する進路に関連のある授業を履修した	1	2
3) 目標とする職種に近いアルバイトをした	1	2
4) インターンシップを行った	1	2
5) 進路に関連する文献・雑誌記事を読んだ	1	2
6) クラブやサークルの先輩またはOB・OGに仕事に関する話を聞きに行った	1	2
7) キャリアセンターに行って相談を受けた	1	2
8) 教員に相談した	1	2
9) 語学検定試験や資格試験を積極的に受けた	1	2
10) その他 ()	1	2

16. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力 (A群から1つ選択)	場面 (B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

- | | | |
|-------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 専門的知識・技術 | 9. 問題解決能力 | 17. 論理的思考能力 |
| 2. ビジョン・先見性 | 10. コミュニケーション能力 | 18. 組織運営力 |
| 3. 行動力・実行力 | 11. 対人能力 | 19. 論述力 |
| 4. 協調性 | 12. 状況判断力 | 20. 外国語能力 |
| 5. 創造性 | 13. 自己改革力 | 21. 異文化理解能力 |
| 6. 達成意欲 | 14. 客観的評価能力 | 22. 異文化の人と協力する能力 |
| 7. リーダーシップ | 15. 粘り強さ | 23. グローバル化する問題を理解し評価する能力 |
| 8. 問題発見能力 | 16. プレゼンテーション能力 | 24. その他 () |

B群

- | | | |
|--------------------|---------------|--------------------|
| 1. 大学の授業 (教養科目) | 5. クラブ・サークル活動 | 9. 大学生活ではあまり身につかない |
| 2. 大学の授業 (専門科目・ゼミ) | 6. アルバイト | 10. その他 () |
| 3. 海外語学研修のプログラム | 7. ボランティア活動 | |
| 4. 留学 | 8. 就職活動時 | |

17. あなたは、大学の授業の一環として次のような経験しましたか。以下の項目にあてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	いいえ	はい
1) 企業・工場等の職場を見学した	1	2
2) 企業・産業関連の資料館を見学した	1	2
3) 介護実習あるいは養護学校に行き実習した	1	2
4) ゼミなどのプロジェクトで企業を訪問したり話を聞いたりした	1	2
5) 授業中に社会人の話を聞いた	1	2
6) 身近な人の職業について記述するレポートを提出した	1	2
7) 海外語学研修プログラムに参加した	1	2

18. 質問17でどれか1つでも「はい」と答えた方にお伺いします。授業の中でこうした経験をしたことは、次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

	授業は			
	1 役に 立た な か っ た	2 あ ま り 役 に 立 た な か っ た	3 や や 役 に 立 っ た	4 役 に 立 っ た
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

19. 本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

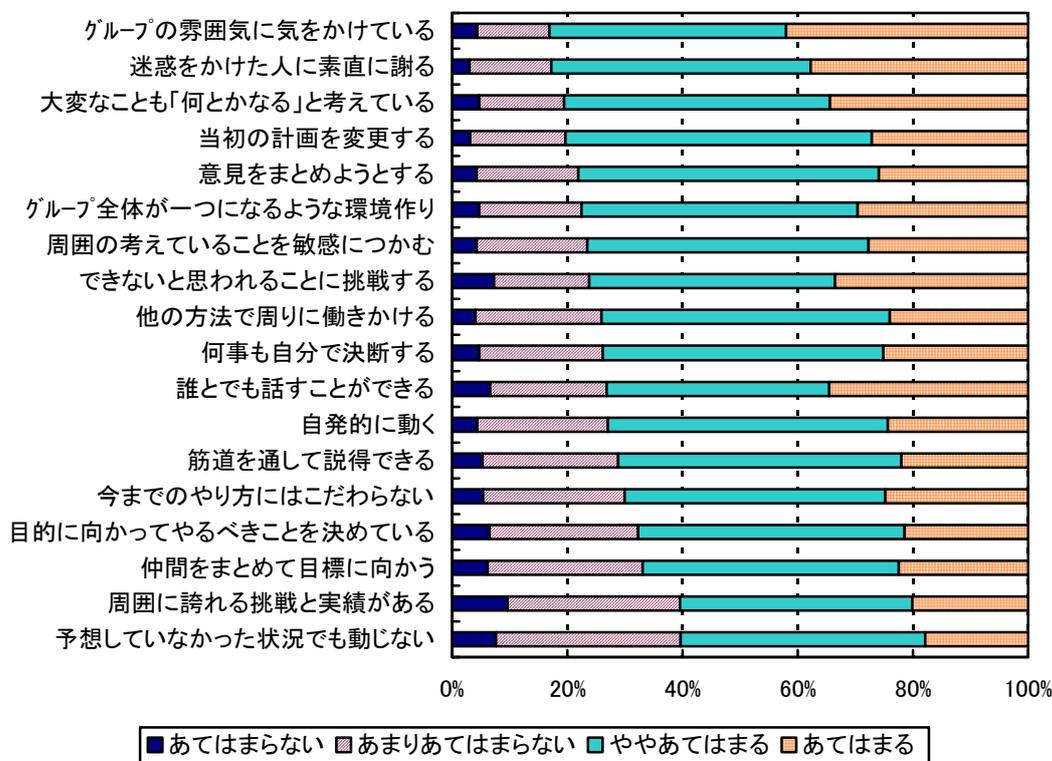
ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター (ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp) までご連絡ください。

Q7. あなた自身について、以下の点はどの程度あてはまりますか。

Q7では学生の自分自身に対する意識について質問している(図1)。質問内容は多様であるが、順に「グループの雰囲気を気にかけている」や「迷惑をかけた人に素直に謝る」、「大変なことも『何とかなる』と考えている」であてはまる(「ややあてはまる」+「あてはまる」)と回答した学生が多い。逆に、他の項目に比べて、「予想しなかった状況でも動じない」「周囲に誇れる挑戦とその実績がある」「仲間をまとめて目標に向かう」については、自分自身についてそのように捉えている学生は少ない。

図1 自己イメージ(Q7)

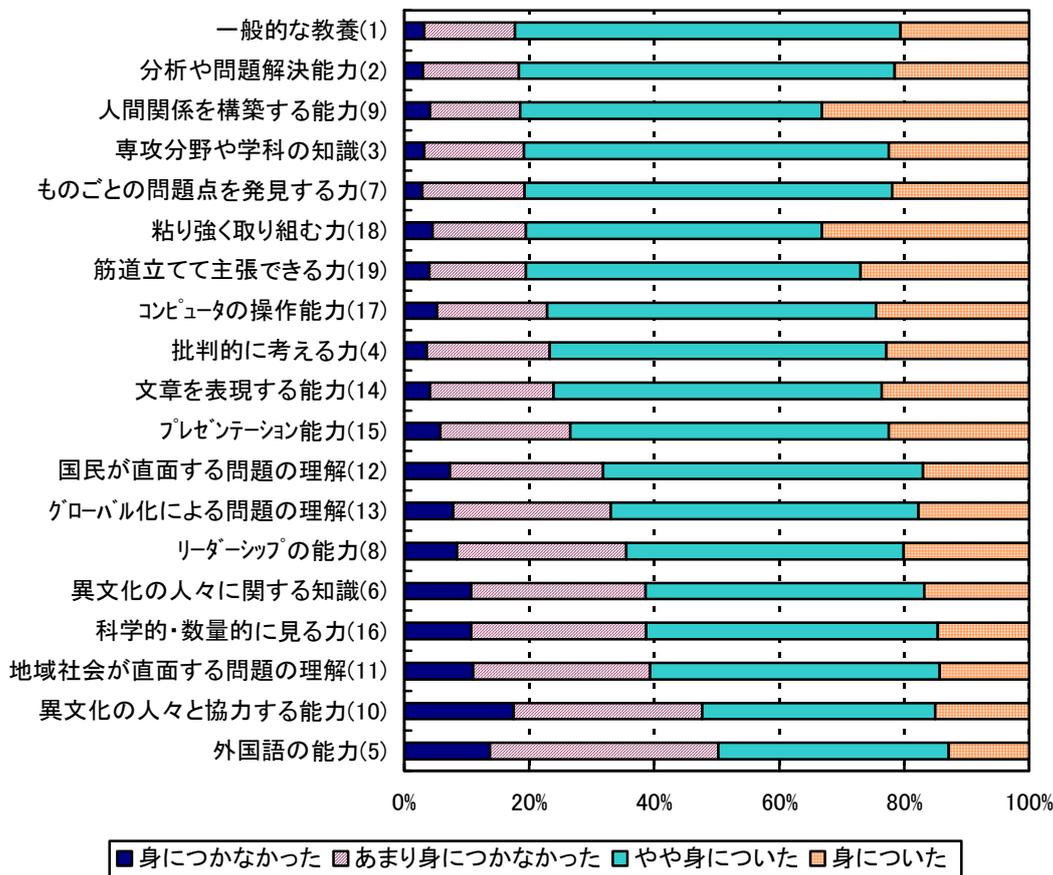


Q8. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。

図2は各項目に関して、これまで大学で学んでどの程度身についたかを示している(図では「やや身についた」と「身についた」の合計の多い順に表示しており、数字は調査票の質問番号を示す)。質問項目は多岐にわたるが、各項目に関して、少なくとも5割程度の学生が身についたと回答している。個々の項目に着目すると、項目間の差異が比較的大きい。つまり、「一般的な教養」から「筋道立てて主張できる」まで身についたが8割を超え

ており、学生の自己評価が高くなっている。これに対して、「外国語の能力」「異文化の人々と協力する力」は身についたと考える学生が相対的に少なく、5割程度にとどまる。

図2 3年間学んで (Q8)

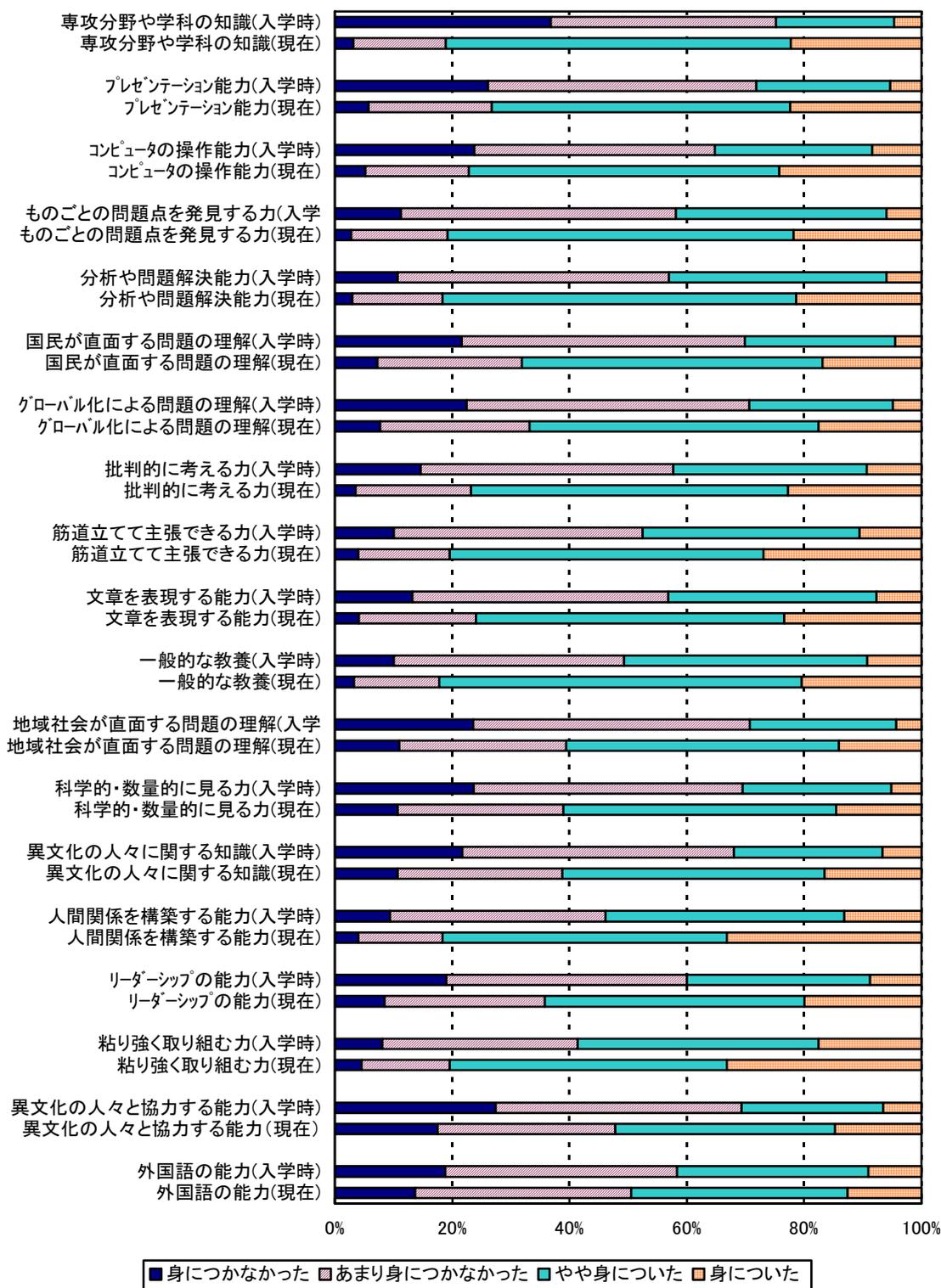


Q8では、同一の項目に関して、入学時点での状況を質問している。図3は、大学入学時と現在(3年次終了時点)に対する自己評価を並列させ、身についた学生の増加が多い順に並べ替えている(「大学入学時」と「現在」の両方に回答している学生に限定して集計している。また、「現在」は「図8」と同一である)。

まず、「専攻分野や学科の知識」で、身についた(「やや身についた」+「身についた」)と回答した学生の割合の増加が大きい。大学での学習・研究内容は、高等学校までのそれと大きく異なるから、妥当な結果であろう。また、「プレゼンテーションの能力」、「コンピュータの操作能力」に関しては、身についた学生が多くなっている。これに、「ものごとの問題点を発見する力」、「分析や問題解決能力」、「国民が直面する問題の理解」が続く。他方現時点での評価においては(図2)、「一般的な教養」で身についたと回答した割合が最も高かったが、入学時からの変化では中位に位置している。こうした傾向に対して、入学時と比較しても、「外国語の能力」、「異文化の人々と協力する力」は身についたと考える割合

が少なく、これらの知識・技能の獲得については、今後の課題といえるだろう。

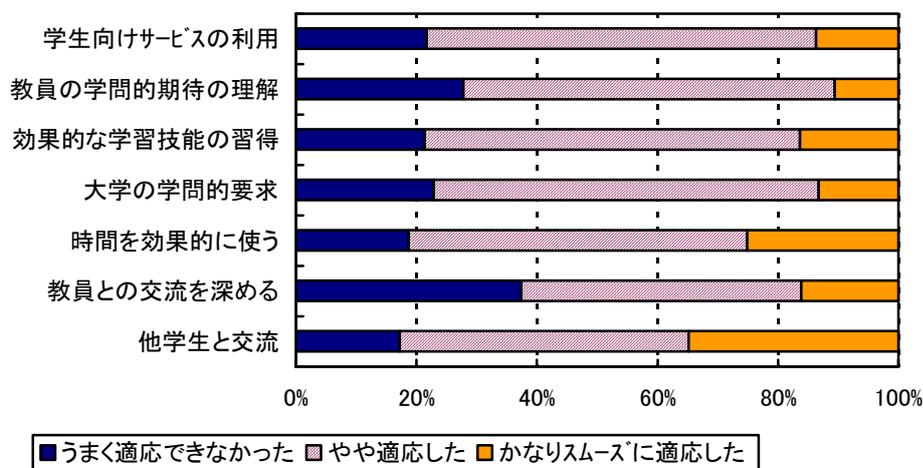
図3 入学時と現在の比較 (Q8)



Q9. あなたは、大学に入学してから、次の項目にどの程度適応したと思いますか。

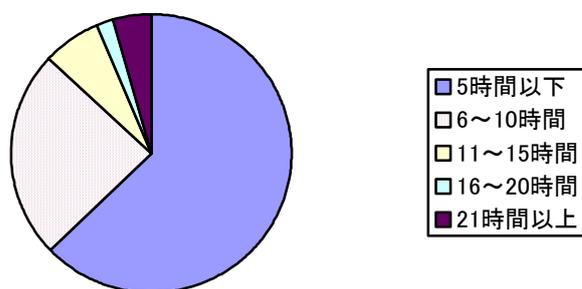
Q9では、いくつかの項目に関して、入学後の適応を質問している。図4を見ると、「他の学生と交流する」が「やや適応した」までを含めると、8割を越えており、適応の度合いが高い。一方で、「教員との交流を深める」に関しては、3年次終了時点においても、適応の度合いが低いといえる。

図4 大学入学後の適応 (Q9)



Q10. あなたは、授業期間中、通常1週間に何時間、授業中以外に学習活動（勉強，文章作成，読書，実験，リハーサル）を行いましたか。

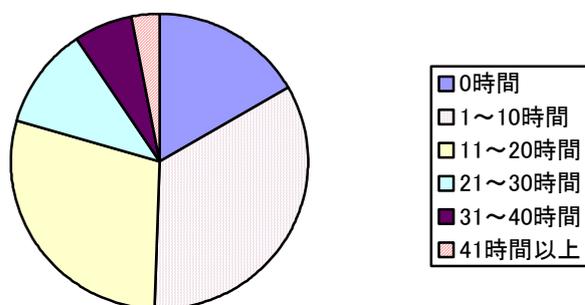
図5 学習時間 (Q10)



授業以外の学習時間については、「5時間以下」と回答した学生が最も多く、62.9%である。これに「6~10時間」と回答した学生が続く（24.0%）。他方、11時間以上学習した学生は、13.1%であった。

Q11. あなたは授業期間中に、通常1週間に何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。

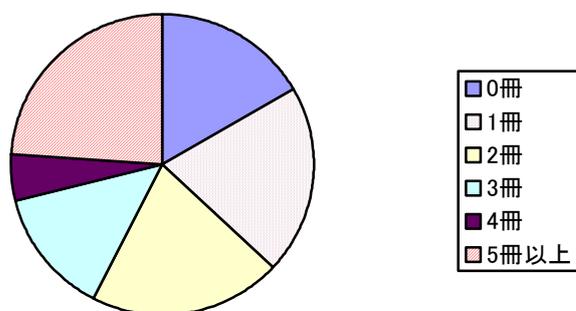
図6 アルバイト時間 (Q11)



アルバイトを行わなかった学生は16.7%であり、8割以上の学生がなんらかのアルバイトをしているようである。また、アルバイトに従事する時間としては、「1~10時間」「11~20時間」が比較的多く、それぞれ34.0%、28.8%であった。

Q12. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書をしましたか。

図7 読んだ本の冊数 (Q12)



最近3ヶ月で読書を全くしなかった学生は、16.7%であり、多くの学生はなんらかの読書を行っている。「1冊」「2冊」と回答したものは、それぞれ2割程度である一方で、「5冊以上」読んだ学生も24.0%存在し、熱心な学生も少なくないようである。

Q13. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

Q13では、学生の入学後の学習・生活習慣について質問している。多様な行動について質

問しているため、ここではいくつかのグループに分けて集計している。なお、図中の質問文に続く（数字）は調査票の質問番号に対応している。

まず、文献や新聞等による学習活動について見てみよう（図8）。「図書館の利用」がもっとも頻繁に行われているが、文献や新聞などからの学習も比較的好く行われているようである。他方で雑誌論文に関しては、4割程度にとどまっている。

図8 文献や新聞等による学習活動（Q13）

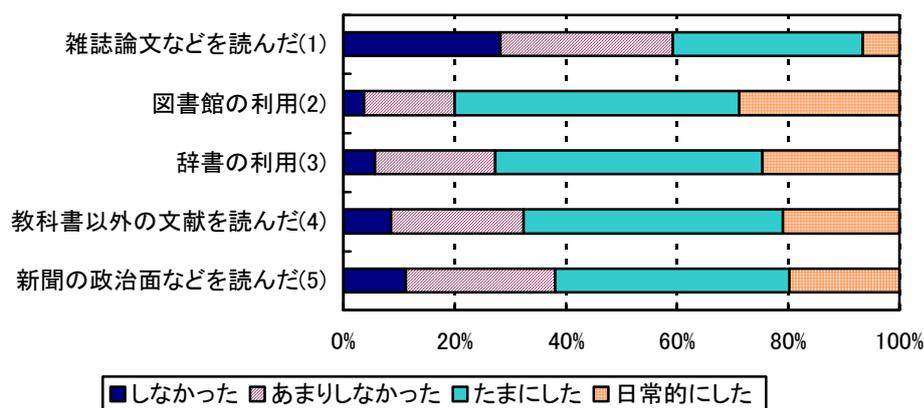
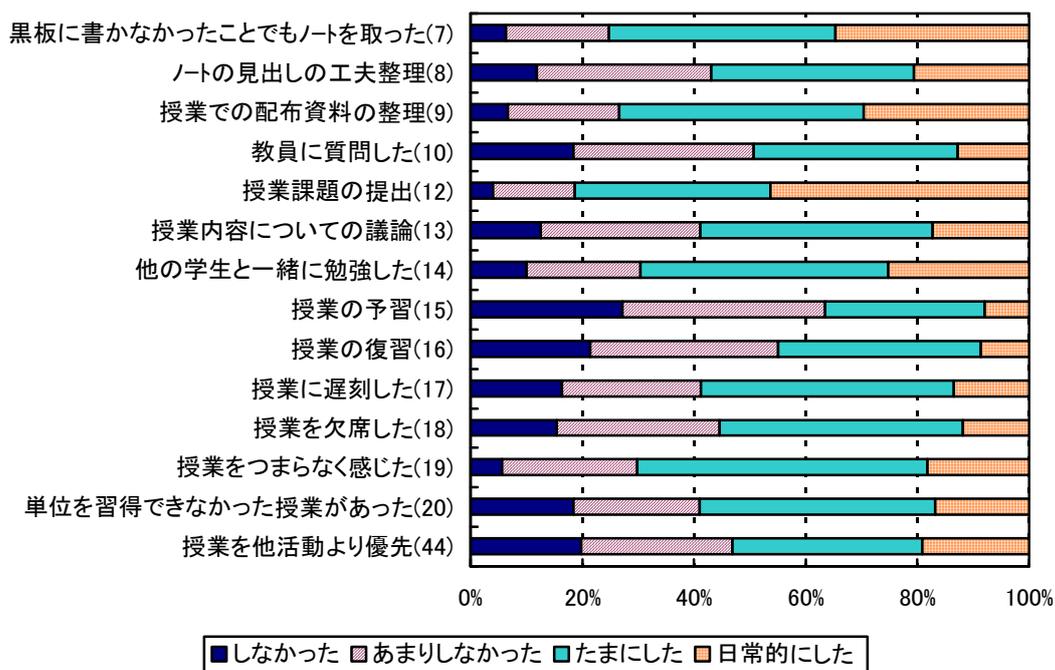


図9には、授業に関係した学習活動の頻度を示している。まず、「授業課題の提出」、「配布資料の整理」などの頻度は高い。特に、前者については、8割以上の学生（「たまにした」＋「日常的にした」）が実行している。

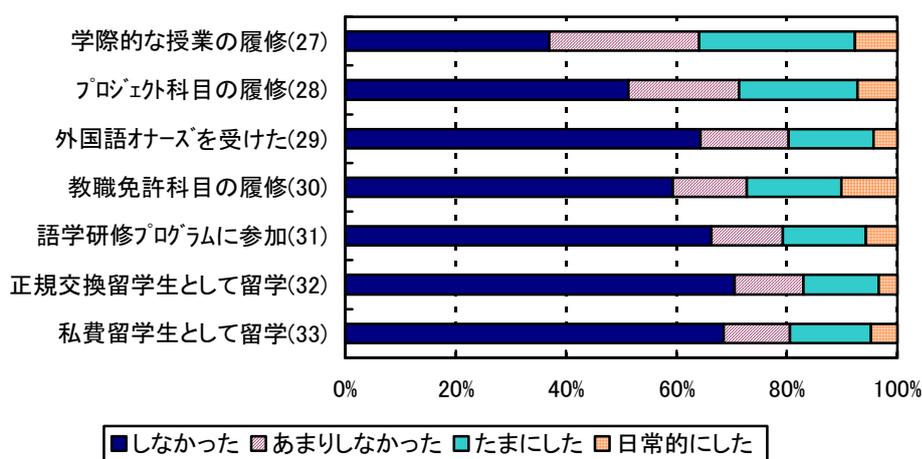
図9 授業での学習（Q13）



これに対して、「教員に質問した」「授業の予習」「授業の復習」といった授業への積極的な参加はそれほど頻度が高くない。また、「授業を他の活動より優先した」学生も半数程度いる。

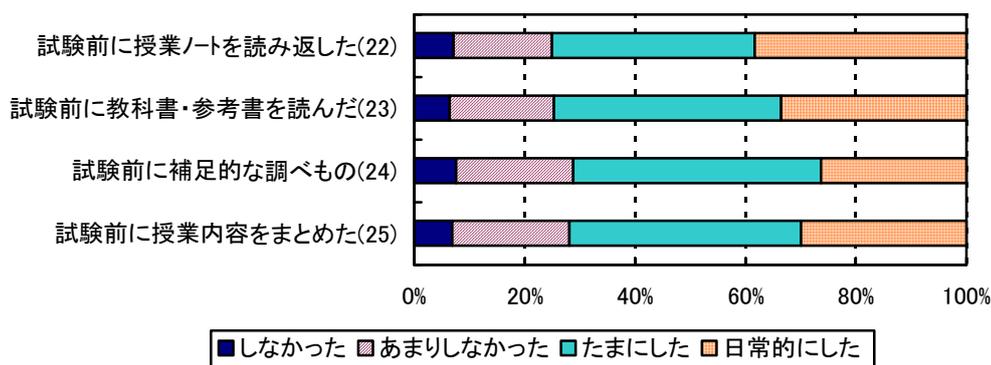
次に授業の履修等についてであるが、「学際的な科目の履修」を除き、こうした授業を履修したり、留学を経験した学生は多いわけではない（図 10）。

図 10 授業の履修 (Q13)



試験前の学習習慣については、質問した習慣について「日常的にした」が3割から4割程度であり、「たまにした」を含めて、7割程度の学生が行っている（図 11）。ただし、「しなかった」と回答する学生も、1割弱、確認される。

図 11 試験前の学習 (Q13)



情報機器の利用について、多くの学生が「インターネットでの情報収集」や「パソコンを使った資料の作成」を行っている。また、「携帯電話の e-mail を使ったコミュニケーション」「パソコン e-mail を使ったコミュニケーション」よりも多いが、こうした情報機器を使

ったコミュニケーションは多くの学生の中で、定着した行動といえる。

図 12 情報機器の利用 (Q13)

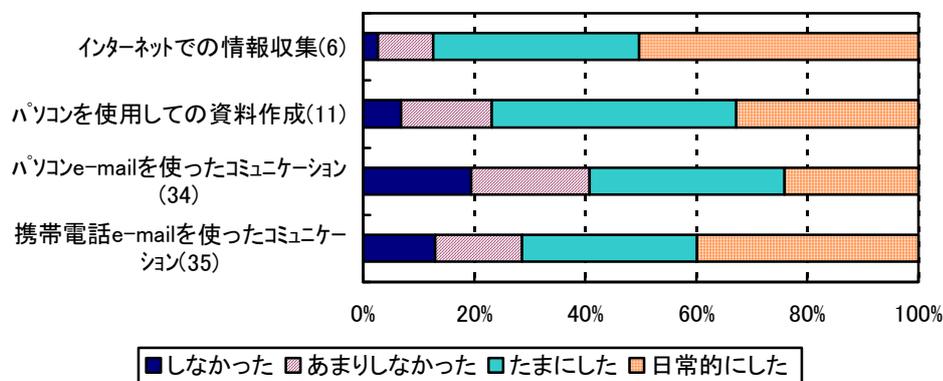
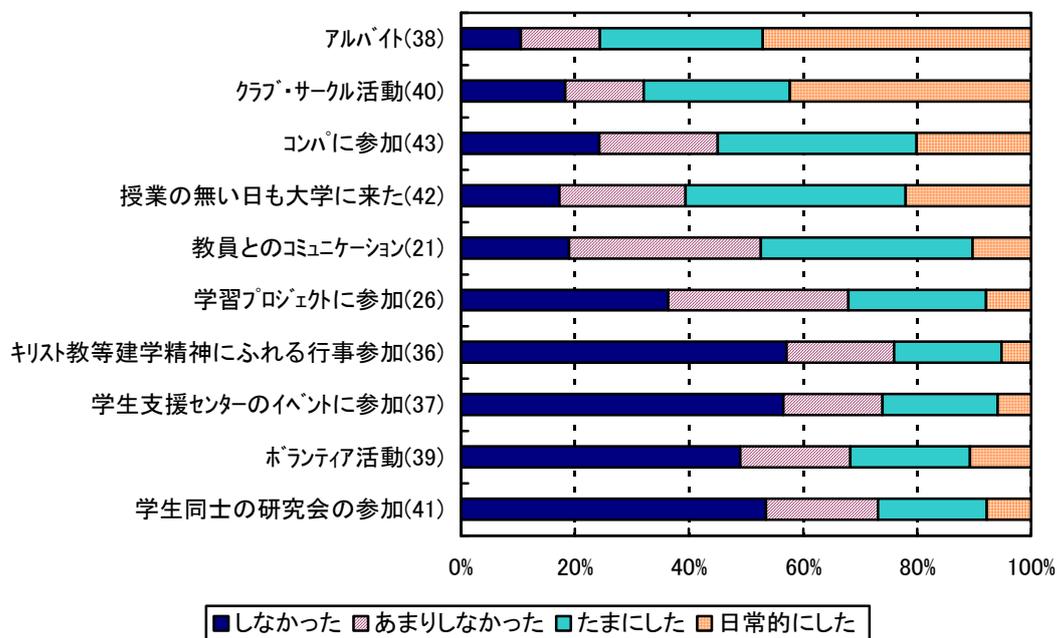


図 13 については、雑多な活動内容を含んでいるが、アルバイト、クラブ・サークルは多くの学生が行っており、大学生の課外活動の中心をなしている。また、自主的な学習活動や、行事・イベントへの参加は2割から3割の学生が行っているようである。

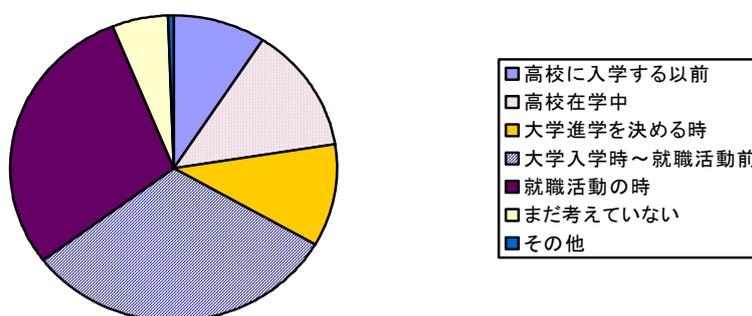
図 13 その他の学習・生活習慣 (Q13)



Q14. あなたが働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。

Q14では、働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた時期を質問している。大学入学前（「高校に入学する以前」「高校在学中」「大学進学を決めるとき」と回答した学生が3割程度であるのに対して、「大学入学時～就職活動前」、「就職活動の時」については合わせて6割程度であり、全体的には大学入学後に考え始めることのほうが多いようである。

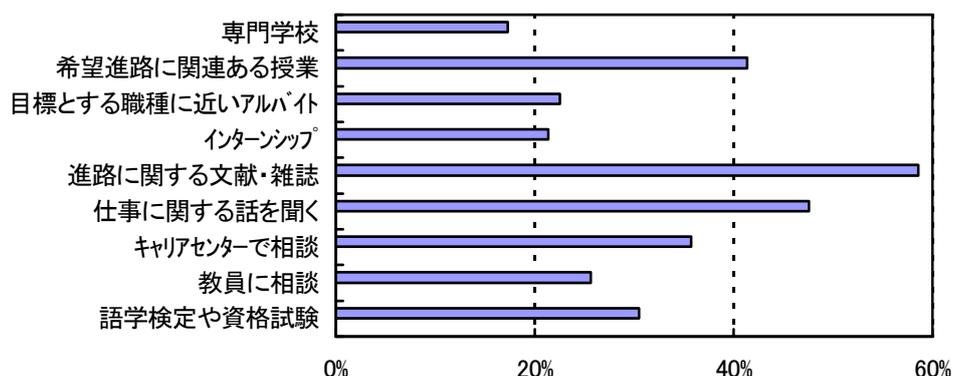
図14 希望する進路について考え始めた時期（Q14）



Q15. あなたは、実際に3年次生秋ごろから始まる就職活動とは別に、希望する進路のためにどのようなことを行いましたか。

卒業後に希望する進路に向けた具体的な活動について見てみよう(Q15)。図15によると、「進路に関連する文献・雑誌記事を読んだ」が最も多く(58.5%)、「仕事に関する話を聞く」、「進路に関連ある授業の履修」がそれぞれ、47.6%、41.3%となっている。「専門学校に通った」や「インターンシップを行った」については、2割程度の学生が行ったと回答している。また、5%弱の学生が「その他」の活動を行ったと回答しているが(図では省略)、具体的な記述として、ボランティア、学内の講座の利用、情報収集などが挙げられていた。

図15 希望する進路のための活動（Q15）

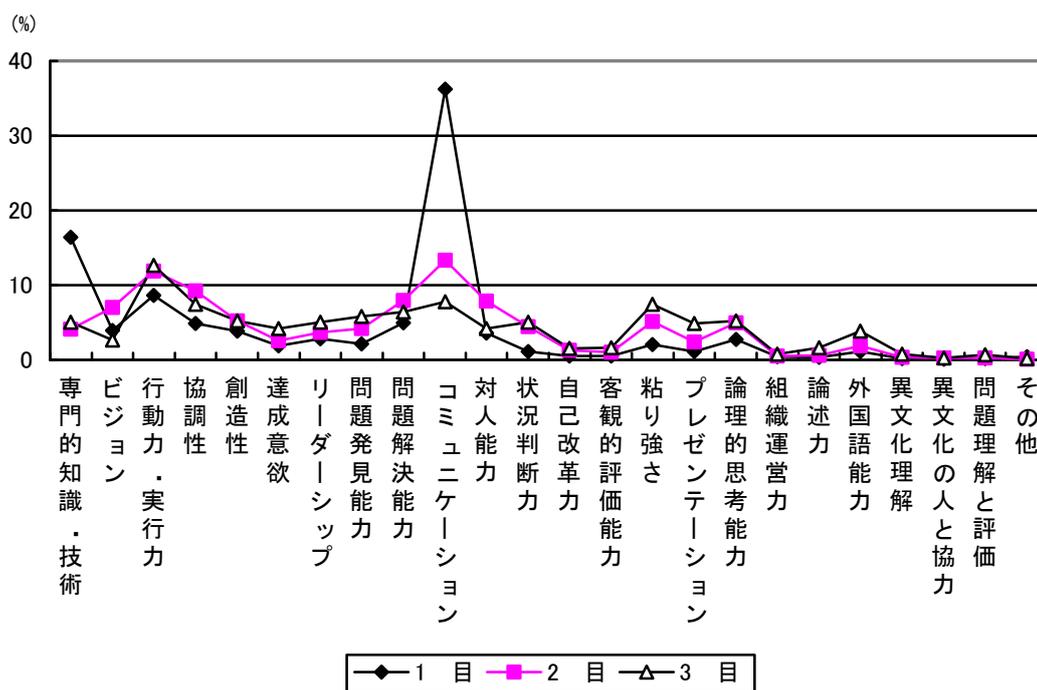


Q16. あなたが将来目指す進路にはどのような能力が必要だと思いますか。また、その能力は大学生活のどの場面で得られると考えていますか。

Q16 では、(1)学生自身が希望する進路に必要な能力と、(2)その能力がどの場面で得られると思うか、を組み合わせせて尋ねている。必要な能力と得られる場面の組み合わせについて、3 つまで回答を求めているが、回答していないもの、1 つ回答したもの、2 つ回答したもの、3 つ回答したものの構成は、順に、6.8%、1.5%、2.3%、89.3%であった（ここでは、能力と場面の両方に回答したものを集計している）。

まず、学生が必要と考える能力について見てみよう（図 16）。1 番目の回答では、「コミュニケーション能力」が突出しており（36.2%）、これに「専門的知識・技術」が続く。それ以外の項目については、10%を下回る。2 番目、3 番目では極端に突出した項目はなく、「行動力・実行力」がやや多くなっている。このことから、学生は、特にコミュニケーション能力を重視しているといえるだろう。

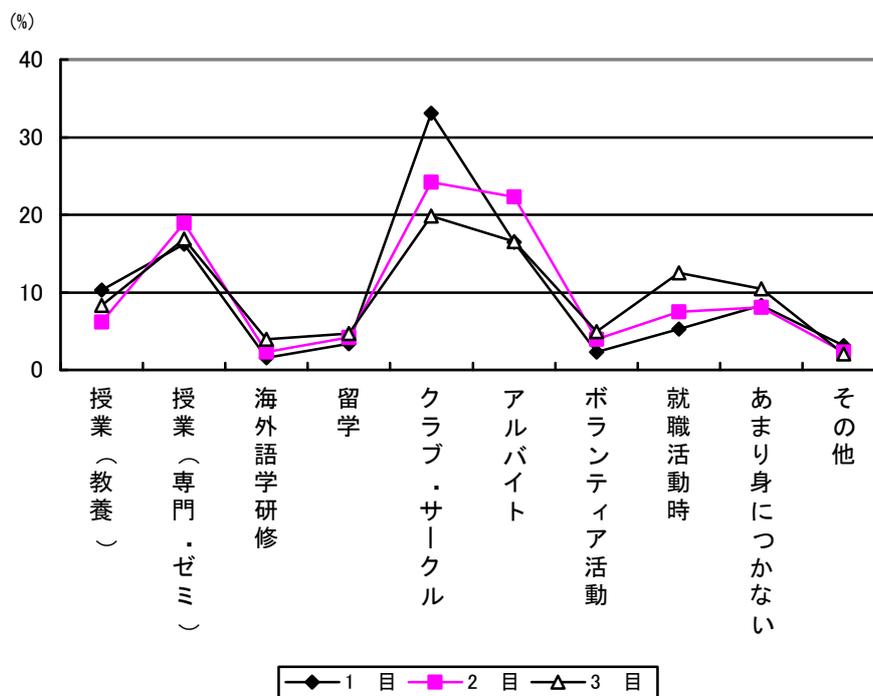
図 16 希望する進路に必要な能力 (Q16)



次に、(2)どの場面で得られると考えているかを示したのが、図 17 である。1 番目では「クラブ・サークル活動」がやや多く、3 割を超える。1 番目から 3 番目までは、ほぼ類似したパターンが見られるが、「クラブ・サークル」、「アルバイト」、「大学の授業（専門科目・ゼミ）」への期待が高い。一方で、「大学生活ではあまり身につかない」も 1 番目から 3 番目のそれぞれにおいて、1 割弱を占めている。また、「その他」では、具体的な記述として、

「日常生活」「友人等との交流」「インターンシップ」などが挙げられていた。

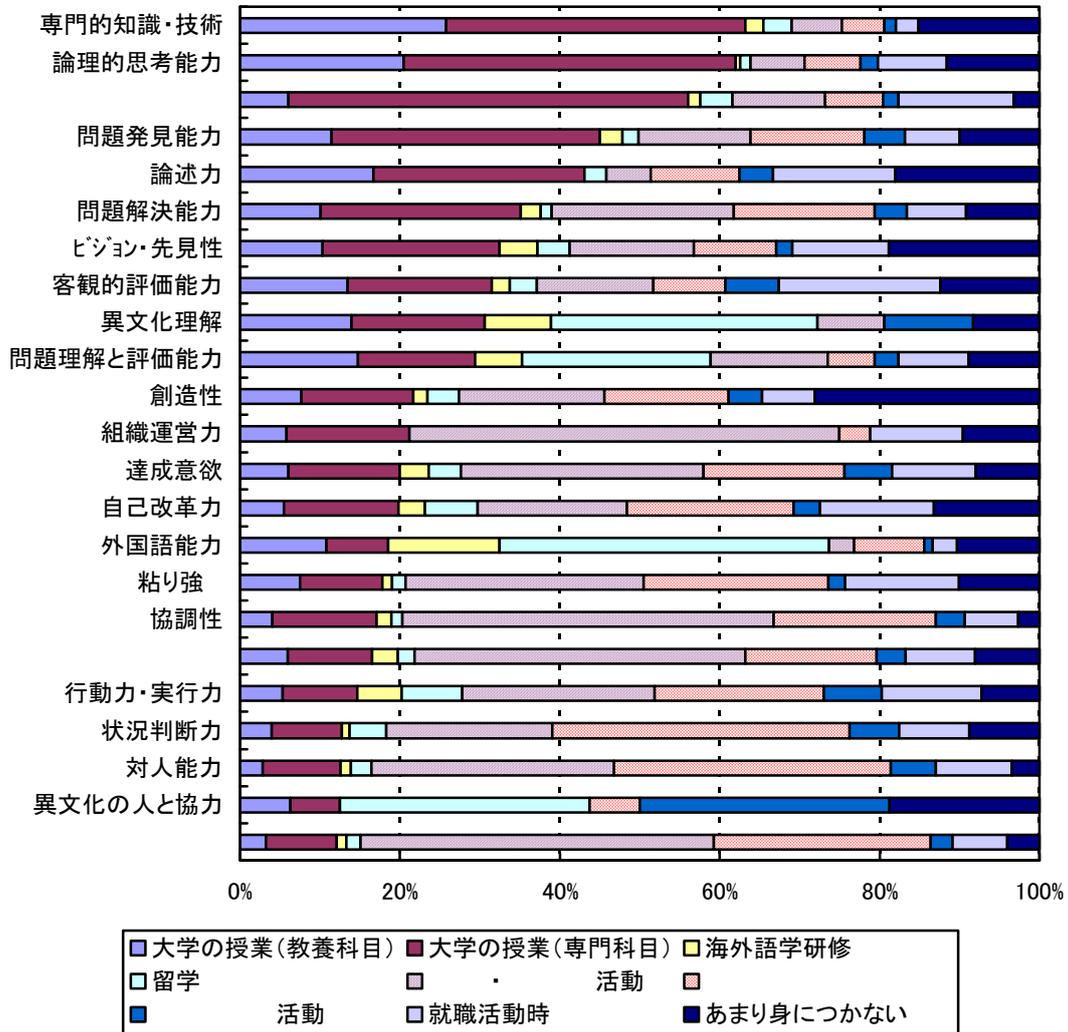
図 17 大学生生活で得られる場面 (Q16)



さらに、学生が必要な能力と場面を、どのように関連付けて認識しているかを見てみよう (図 18)。図は、それぞれの能力ごとに、どの場面が重視されているかを表示している (1 番目から 3 番目の回答を合併して集計)。図では、大学の授業 (「教養科目」+「専門科目・ゼミ」) の割合が多い順に並べているので、学生が大学教育に対して、どのような期待を寄せているかを窺うことができる。ここから、大学教育に対して期待が高いのは、「専門的知識・技術」、「論理的思考能力」、「プレゼンテーション」などであることが分かる。

また、必要な能力に関しては、先述のように「コミュニケーション能力」が特に重視されていたが、「協調性」などを含めた対人関係のスキルについては、「クラブ・サークル活動」、「アルバイト」から得ることが多いと考える学生が多い。このほかにも、「外国語能力」には、「海外語学研修」「留学」が対応するなど、特徴的なパターンが見られる。

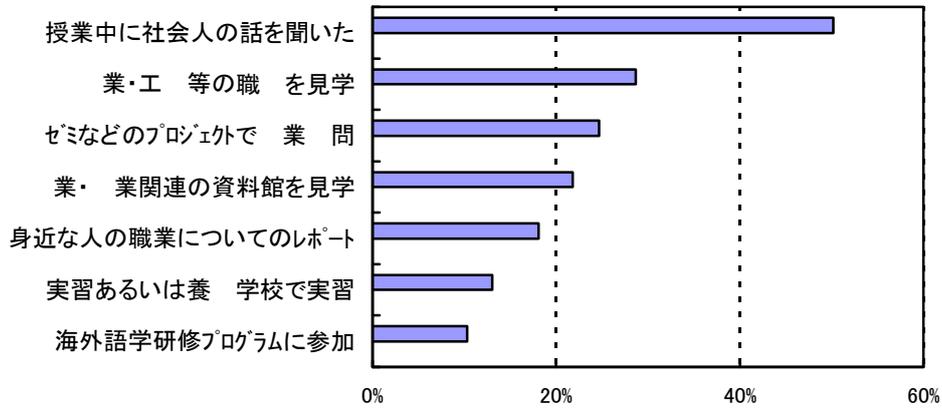
図 18 希望する進路に必要な能力と得られる場面 (Q16)



Q17. あなたは、大学の授業の一環として次のような経験をしましたか。

Q17では授業の一環として、次のような経験をしたかどうかを質問している(図19)。これらは、主に卒業後の就職と関連した項目であるが、授業でこうした経験をした学生は少ない。具体的には、最も多くの学生が受講したものは「授業中に社会人の話を聞いた」で、50%程度であるが、その他の項目は、1割から3割程度にとどまっている。

図 19 就職関連の授業受講率 (Q17)



Q18. 授業中でこうした経験 (Q17) をしたことは、次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。

また、問 17 のいずれかを経験した学生に対して、問 17 の経験が、役に立ったかどうかを質問している (問 18)。図 20 から、項目によってある程度のばらつきがあることが確認される。具体的には「多様なものの見方に触れる」や「社会問題への関心を持つ」などは、多くの学生によって役立ったと評価されているが、「リーダーシップを発揮する」「愛校精神」は、役に立ったと評価した学生が相対的に少ない。

図 20 就職関連の授業に対する評価 (Q18)

